科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

					大学教育入門セミナー	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	スポーツ健康科学	情報処理基礎	地域コアⅠ	地域コアⅡ	地域コアⅢ	歴史学	文化人類学	法学〈日本国憲法〉	医療経済学入門	社会学	基礎物理Ⅰ	基礎物理Ⅱ	基礎化学	総合教養ゼミナール	医学入門	生命倫理学Ⅰ	生命倫理学Ⅱ	コミュニケーションとチーム医療Ⅰ	地域医療早期体験プログラム	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅱ	基礎生物学	生命現象の科学	人体解剖学
				必修・選択・選択必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択必修	選択必修	選択必修	選択	選択	選択	選択	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
				教育課程表区分	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	メディプロ	メディプロ	メディプロ	メディプロ	地域医療	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学
				履修年次	1年次																												
				科目番号	GISEM 180	GBFOR 180	GBFOR 181	GBFOR 182	GBFOR 183	GBHEA 180	GBBAC 180	GCITM 180	GCSSE 180	GCNPE 180	GSHCU 181	GSHCU 182	GSSNT 182	GSSNT 184	GSSNT 185	GSSNT 187	GSSNT 188	GSSNT 189	GSSNT 190	41FOU 101	41FOU 103	41FOU 104	41FOU 105	41REG 106	41BAS 101	41BAS 102	41BAS 103	41BAS 104	41BAS 107
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。	C										C									C	C								
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																				C	C								
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。																				C	C	C							
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。	C																												
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。	C																												
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。																						C		C	C				
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。								C	C			C	C		C	C	C	C	C										
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。																						C		C	C				
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。																						C							
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。																													
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。																						C							
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。																						C	C						
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。										C										C			C	C	C	C		
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。						C				C				C						C					C	C	C	C
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。																												
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。																												
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。																										A		
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。	C																											
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。																						C							
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																												
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。																												
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。																												
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。																							C					
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。							C																					
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。																				C	C	C		C				
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																												
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。																												
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。																			C						C			
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。		C	C	C	C																								
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。																												
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。																			C				C					
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。																												
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。	C									C													C					
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。																												
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。										C																		
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																										C		

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

					数理・データサイエンス入門	研究実践初級コース	研究実践上級コース	哲学的人間学	教養特別講義	芸術学	教育学	医学英語Ⅰ	医学英語Ⅱ	コミュニケーションとチーム医療Ⅱ	地域医療学（2年）	生体物質の代謝	遺伝情報の維持と発現制御	組織・機能・各臓器の構成	画像解剖総合演習	個体の調節機構とホメオスタシス	中枢神経系の機能と構造	個体の発生	生体と微生物	生体と医動物	免疫と生体防御	感染症診断実習	ライフと放射線	医療統計学	医学英語Ⅲ	医学英語Ⅳ	医の原則	死と法	地域医療学実習
				必修・選択・選択必修	必修	選択	選択	選択	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択
				教育課程表区分	医科学研究	医科学研究	医科学研究	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	医学英語	医学英語	メディプロ	地域医療	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎臨床医学	医科学研究	医学英語	医学英語	メディプロ	メディプロ	地域医療
				履修年次	1年次	1-4年次													2年次												3年次		
				科目番号	41RES 101	41RES 103	41RES 104	GSHSC 282	GSHSC 283	GSHCU 280	GSSNT 286	41ENG 201	41ENG 202	41FOU 206	41REG 402	41BAS 205	41BAS 206	41BAS 209	41BAS 210	41BAS 211	41BAS 212	41BAS 213	41BAS 214	41BAS 215	41BAS 216	41BAS 219	41CLM 215	41RES 202	41ENG 303	41ENG 304	41FOU 308	41FOU 309	41REG 303
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。																											C		
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																											C		
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。										C																	C		
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。																													
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。																													
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。										C																	C		
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。				C	C	C	C																						
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。										C																		C	
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。										C																	C		
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。															A													
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。										C																			
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。										C	C																C		C
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。	C									C			C			C						C				C		
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。												C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C				C	C	C
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。												C	C		C			C	C								C	
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。																												
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。															A													
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。		A	A																									
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。										C																		
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																												
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。												A			B				A	A	A	C						
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。																												
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。															B													
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。																											C	
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。										C																C		
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																												
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。	C	C	C																				C			C		
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。		A	A											C														
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。								A	A															A	A			
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。											C																	
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。																												C
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。																											C	
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。											C																	C
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。																												
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。																						C						
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																												

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

（カリキュラム・マップ　3/4）

					Ⅰ社会と医学・医療	生体と薬物	原因と病態	血液・造血器・リンパ系	神経系	皮膚系	運動器（筋骨格）系	循環器系	呼吸器系	消化器系	腎臓内科	泌尿器系	女性生殖機能・乳房	内分泌・栄養・代謝系	眼・視覚系	精神系	放射線・電磁波の応用と防護	研究室配属	アドバンスト医科学研究コースⅠ	アドバンスト医科学研究コースⅡ	実用医学英語Ⅰ	コミュニケーションとチーム医療Ⅲ	医療における安全管理	地域医療学（4年～）	Ⅱ社会と医学・医療	耳鼻咽喉・口腔系	遺伝医療・ゲノム医療	感染症	腫瘍
				必修・選択・選択必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
				教育課程表区分	地域医療	基礎医科学	基礎医科学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	医科学研究	医科学研究	医科学研究	医学英語	メディプロ	メディプロ	地域医療	地域医療	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学
				履修年次	3年次																					4年次								
				科目番号	41REG 304	41BAS 317	41BAS 318	41CLM 301	41CLM 302	41CLM 303	41CLM 304	41CLM 305	41CLM 306	41CLM 307	41CLM 308	41CLM 309	41CLM 310	41CLM 311	41CLM 312	41CLM 313	41CLM 316	41RES 305	41RES 306	41RES 307	41ENG 405	41FOU 407	41FOU 410	41REG 402	41REG 405	41CLM 414	41CLM 417	41CLM 418	41CLM 419
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。																														
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																														C
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。	C															C					C			C		C	C	
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。																														
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。																														
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。																					C									
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。																														
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。																					C									
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。																					C									
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。																														
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。								C								C					C									C
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。	C																				C	C	B	C						
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。																					C									
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。	C	C		C	C	C	C		C	C	C	C	C	C	C	C	C								C	C		B		
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。			C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C									C	C	C	C	C
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。				C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C									C	C	C	C	C
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。																				A									
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。																	A												
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。																C					C									
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																														
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。													B																	
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。						B							B			B														
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。	B					B							B			B								B					B
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。																														
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。																	C				C									
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																	C					C							C	
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。	C																	C							C					
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。																		C	A	A										
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。																					A									
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。	C							C																	C					
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。	C																							C	C					
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。	C																								C					
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。																								C						
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。	C																								C					
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。																	C													
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																														

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

					免疫・アレルギー	救急医療・緊急被ばく医療	成長と発達	加齢と老化	症候・病態からのアプローチ	基本的診療知識	基本的診療技能（OSCE）	画像・放射線を用いた診断と治療	CBT	診療参加型臨床実習Ⅰ（4年）	実用医学英語Ⅱ	メディプロ総合演習（5年）	診療参加型臨床実習Ⅰ（5年）	診療参加型臨床実習Ⅱ（5年）	メディプロ総合演習（6年）	診療参加型臨床実習（6年）	実践臨床病態学	POSTCC-OSCE
				必修・選択・選択必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	−	必修	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	−
				教育課程表区分	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	診療の基本	診療の基本	診療の基本	診療の基本	−	臨床研修	医学英語	メディプロ	臨床研修	臨床研修	メディプロ	臨床研修	臨床研修	−
				履修年次	4年次										5年次				6年次			
				科目番号	41CLM 420	41CLM 421	41CLM 422	41CLM 423	41DIA 401	41DIA 402	41DIA 403	41DIA 404	−	41PRA 501	41ENG 506	41FOU 611	41PRA 501	41PRA 602	41FOU 611	41PRA 602	41PRA 603	−
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。										B		C	B	A		A		
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。										B		C	B	A		A		
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。							C			B		C	B	A		A		
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。							B			B			B	A		A		A
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。										B			B	A		A		
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。										B		C	B	A		A		
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。																		
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。							B			B			B	A		A		
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。							B			B			B	A		A		
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。										B			B	A		A		
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。						B	B			B			B	A		A		
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。						B				B			B	A		A		
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。									A								
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。			C						A							A	
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。	C	C	C	C	C	C		C								A	
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。	C	C	C	C				C								A	
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。										B		A	B	A	A	A		
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。										B			B	A	A	A		
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。			B				B			B			B	A		A		A
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。			B			B	B			B			B	A		A		A
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。			B			B	B	B		B			B	A		A	A	
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。		B			B	B	B			B			B	A		A	A	A
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。		B	B	B	B	B	B	B		B			B	A		A	A	A
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。							B			B			B	A		A		
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。						B	B			B			B	A		A		
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。							B			B			B	A	B	A		
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。										C			C	C	C	C		
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。										B			B	A	C	A		
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。											A							
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。			C							B			B	A		A		
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。										B	C		B	A		A		
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。										B			B	A		A		
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。										B			B	A		A		
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。		C					B			B			B	A		A		A
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。		C								B			B	A		A		
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。										B			B	A	C	A		